平成３０年度　社会福祉法人 明徳会　事業計画

計画者：石井 康就

◇　事業方針

笑　顔！

平成 30 年度は「笑顔」を運営ポリシーに掲げ各事業ごとにそれぞれでテーマをもって運営を行っていきます。今年度新たな取り組みとして熊本市中央区に市の委託を受けて相談支援事業所の開設や、就労の分野で就労定着支援の事業展開を見据えて運営を行っていくこととしています。母体である入所支援に関しては新たな展開として、入所・通所の一部分離といった体制にチャレンジしていくこととしており、それぞれの分野でご利用される方、働く職員ともに笑顔が沢山溢れる一年としていけるよう努めていきたいと思っております。また、昨年度から取り組んでいる虐待に関する再発防止の取り組みに関しては、引き続き権利擁護の意識向上を目指して今年度も続けていき、二度と同じことを繰り返さない決意を持ってのぞんでいきたいと思っております。

◇　事業所ごとでの課題と取り組み

●チャレンジめいとくの里

【入所／介護系】

グループをオーパス以外は全て一新し、基本的に通所と入所に分けて活動を行うように構成を変更しています。分離したことで各分野、より特化した内容に取り組み込むことが可能となるのではないかと考えています。その反面、ある意味サービスの質が低下したと考えられるようなところもあるため、働く側とサービス内容提供の範囲のバランスを考え、メリットデメリットをしっかりと認識したうえで実施を行っていくことが大切だと感じています。職員までの分離・分業はまだできていませんが、完全に分けるとまではいかないまでも、弱冠の業務分担・負担軽減にはつながっていくのではないかと期待をしているところです。バランスを意識し、実行していきながら両面を考えた時に総合的にはプラスへ転じていけるよう変革を図っていきたいと思っております。

●障がい福祉サービス事業所

【ケア・ハピネス】

昨年度はまだ定員４０名に達した日が一日もない状況であったため、今年度は定員に達する日を目指して努力していくこととしています。しかし、１．７対１の職員配置で行っていましたが、職員の増員が追い付かず今年度は２．５対１の配置でスタートすることとなっています。できる限り早急に職員を配置し２対１もしくは１．７対１の職員配置で運営が行っていけるよう努力していきたいと考えております。事業内容に関しては昨年１１月にかじおハピロバをオープンし、地域の方にも広く活用していってもらいたいと考えているため、知ってもらえるようなイベントの企画や各団体への啓発を今年度力を入れて行っていきたいと考えております。

●ゆめくらしワークス

【就労支援・生活訓練・就労継続支援 B 型】

今年度から就労定着支援事業という新たな分野ができ、その分野にも着手していけるよう準備を行っていくこととしています。実際には現在も就労定着支援に関しては就労移行支援の中で行っていることもあり、対応は可能ではないかと考えています。また、生活訓練に関しては引き続き訪問型の支援の確立や B 型に関しては工賃アップなどの目標があるため、設定した目標へと近づいて行けるよう努力していきたいと思っております。

●熊本市障がい者相談支援センターチャレンジ

熊本市の指定委託に関しては北区での相談委託事業は取れなったものの、中央区で委託を受けて相談支援事業を行っていくこととなり、今年はそれを作り上げていく大事な一年になると考えています。それと同時に北区で現在行っていた計画相談に関しても継続して行っていくため、相談支援専門員の配置人数を増やして対応を行っていくこととしています。

●ゆめくらし事業所　オレンジハウス

　昨年度一人で外出できる方が少しずつ増えてきたりと、地域での生活の「楽しみ」を入居されている方が実感できる日が増えてきていると感じています。今年度も地域で生活していく楽しみが増えていけるような支援の構築を目指していきたいと考えています。これから「地域へ」の動きはますます加速していくことが予想されること、また当法人の入所待機者増加の問題を解消していくためにも今後もグループホームの建設に関しては努力していかなければならないと感じています。新たなグループホームができた時、できる限りスムーズに移行ができるよう宿泊体験のシステム作りや地域生活をしてみたいと思ってもらえるような取り組み内容の構築を目指していきたいと考えています。

●事務部・人事

　人事面において、人材確保に関しては当法人だけの問題ではなく社会的にも深刻な状況となってきています。厳しい状況に変わりはありませんが、人員配置の問題や夜勤者の確保、同性介助をしっかりと行っていくためにもいかにして人材を確保していくかは大きな課題となっています。新たな人材と現職で働いている職員の両面を考え、職場環境の構築をどのように行っていくか、ＥＳアンケートの聞き取りやストレスチェック表、昨年度から導入したタイムカードを基にしてより良い形を作りあげていきたいと思っております。福祉を目指す人材が明徳会を職場として選んでもらえるよう、また働いている職員が長く勤めたいと思えるような職場環境構築を今年度も努力していきたいと思っております。

◇　「安心」「安全」「安らぎ」に向けて

　権利擁護に関しては昨年度から再発防止に向けた取り組みを計画的に行っており、引き続き内部研修や職員へのアンケート調査等を行いながら、法人全体で危機感を持って今年度も変わらず取り組んでいくこととしています。また、昨年度初めて在籍中のご利用者様がお亡くなりになられ、ご利用者様の高齢化に伴う健康面での心配も年を重ねるごとに大きくなってきている現状です。普段からの健康観察をしっかりと行い、めいとくの里での生活を安心して送ることができるよう注意して観察していくことが大切だと感じています。

　課題はたくさんありますが、一つひとつ計画性を持って取りくみ、見直し改善を行っていきながら毎日の生活の中でたくさんの「笑顔」が溢れるめいとくの里を作っていけるよう努力していきたいと思っております。

以上